

錦城高校新聞

題字 井口 文章
再刊 第518号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2026

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：64名生宿泊研修実施されました！
軽音楽部新歓ライブで盛り上がる
二面：仲を深める宿泊研修②
弓道部関東大会出場決定！

錦城生の自覚芽生える

友情はぐくむ宿泊研修

4月16日(木)～18日(土)に1学年481名は富士緑の休暇村で2泊3日の宿泊研修を行った。晴天の下新たな出会いがあった旅を1年有志記者がお届けする。

緊張と期待の宝探し

481人に乗せたバスが富士緑の休暇村に到着し、入村式が始まった。先生方は仲間がしたミスをかバリーし合

い、これからのプログラムを通して絆を深めてほしいと呼びかける。そして、校旗を掲げ、本格的に宿泊研修がスタートした。

乗せたバスは「森と湖の楽園」へ到着した。待ちに待ったリアル宝探しゲームの始まりだ。班の仲間と知恵を絞りながら謎と向き合い、協力しながらキーワードを集めていく。謎が解けた際には全力で喜びを分かち合い、仲間たちとの絆を深めるきっかけとなった。



宿泊研修一日目 宝を求めて歩き出す



宝を探している様子

どの班も制限時間ギリギリまで謎と向き合い、優勝を目指して力を尽くしていた。栄えある優勝はE組1班。全てのキーワードを集めた彼

ら幕を開けた。先生の美声の下、集中して練習する姿が見受けられた。その後の「錦城クイズ」では白熱。先生から出されるクイズに悩まされる生徒が続出していき、終盤になるにつれ連続で正解できず脱落する生徒が増えていった。復活チャンスもあり、計2人の生徒に勝利の女神が

ほほ笑み、幕を閉じた。2日目、運動会の前半の部を終え、お腹をすかせた一同は飯盒炊爨場に向かった。テーブルに調理器具を置いたあとは、班で役割分担をして調理をスタート。火を起す担当、野菜を切る担当、お米を研ぐ担当などに分かれ、協力して作業を進める。火を起した後は、手が空いた人で火にうちわで空気を送った。うちわ担当になった皆は口をそろえて「目がやられた

1日目の夜は校歌の練習から幕を開けた。先生の美声の下、集中して練習する姿が見受けられた。その後の「錦城クイズ」では白熱。先生から出されるクイズに悩まされる生徒が続出していき、終盤になるにつれ連続で正解できず脱落する生徒が増えていった。復活チャンスもあり、計2人の生徒に勝利の女神が

仲深まる時間

この後の宿泊研修への期待を膨らませ、最高のスタートを切ることとなった。

オーストラリアイタリヤからの留学生！

日本文化の新たな発見

今年度から錦城に留学してきたユアン・ストックウエルさん(1M)とマッシュモ・コンテさん(1C)に話を聞いた。オーストラリアのシドニー出身で、お母さんが日本人のハーフだというユアンさんは、錦城にもう慣れはじめ、友達もできたという。ただ、土曜日にも学校があり正直大変だそ



毎日が新しい経験

うで、もう少し休みがあったら嬉しいと話してくれた。ユアンさんは大阪、名古屋、青森や仙台などの行ってみたい場所がたくさんあるという。日本のアニメ、音楽、建物など文化が好きで、特に「ぼっち・ざ・ろっく」というアニメが好きだそう。異国の地でホームステイで、毎日新しい経験ばかりでも面白いと楽しげに話してくれた。イタリヤ出身のお母さんが日本人のハーフだというコン



制服のイメージ変わる

テさん。サッカー部に入り、友達もできたのだと話してくれた。日本にはすでに何回も来たことがあるが、日本の建物や食べ物などの文化がどれも好きだと話す。ただ、日本人の気配りなどの文化はコンテさんにとって固いと感じるよう。素晴らしい文化だとは思

うけれど、その中で暮らすと違和感を感じた。コンテさんは制服を着て学校に通うことに少し抵抗があったそうだが、何日か錦城で過ごして制服の文化が好きになったという。好きな服を自由に着ることはできなくても、制服の方がエレガントに見えるという統一感がある良い文化だと思ってくれた。2人は7月頃まで錦城にいるそう。校内で見かけることがあれば気軽に話しかけてみよう。(菊)



おいしいご飯が食べられますように

「喉がヒリヒリする泣」と悶絶していた。モクモクと漂う煙をほらいながら、それぞれカレー作りを進めていく。カレーと同時に進行で、使い終わった食器の片付けを進めている班もあった。食器洗いを担当した生徒は、飯盒の底についた焦げがしぶとく、かなり苦戦したそう。水を入れ忘れてばさばさになってしまったご飯を皆で協力して食べている班や、調理に時間がかかってしまった班もあったが、最後にはどの班も芝生の上でランチを楽しんでいた。(二面に続く)

「喉がヒリヒリする泣」と悶絶していた。モクモクと漂う煙をほらいながら、それぞれカレー作りを進めていく。カレーと同時に進行で、使い終わった食器の片付けを進めている班もあった。食器洗いを担当した生徒は、飯盒の底についた焦げがしぶとく、かなり苦戦したそう。水を入れ忘れてばさばさになってしまったご飯を皆で協力して食べている班や、調理に時間がかかってしまった班もあったが、最後にはどの班も芝生の上でランチを楽しんでいた。(二面に続く)

「喉がヒリヒリする泣」と悶絶していた。モクモクと漂う煙をほらいながら、それぞれカレー作りを進めていく。カレーと同時に進行で、使い終わった食器の片付けを進めている班もあった。食器洗いを担当した生徒は、飯盒の底についた焦げがしぶとく、かなり苦戦したそう。水を入れ忘れてばさばさになってしまったご飯を皆で協力して食べている班や、調理に時間がかかってしまった班もあったが、最後にはどの班も芝生の上でランチを楽しんでいた。(二面に続く)



集まった観客のテンションをぶち上げる

五月病を吹き飛ばせ

5月2日(土)に音楽室で軽音楽部の「五月病なるなよライブ」が行われた。「見に来てくれた人の顔をしながら演奏したので楽しかったです」と話してくれた

の「SANA」メンバー。ベイスの山下喜永さん(3B)は「練習する時間が少なかったため次はもう少し練習したいです」と演奏を振り返る。ボーカルの岩崎更さん(3B)は「SANA」の前に2つのバンドに出ましたが、どちらもミスをしてしまったところがあつたので、このバンドでは全部やりきるぞ！という気持ちで臨みました」と語る。

今回のバンドで演奏した2曲、チャットモンチーの「風吹けば恋」とHump Backの「番狂わせ」では、高い音が多く、喉を壊してしまつたため、裏声で歌うように意識したという岩崎さん。本番の様子について「間違えてもいいからとにかく合わせることに重点を置きました」と振り返る。



ライブプログラム掲載の「ジャガーくん」のイラストは顧問作。

顧問の堀河先生は、今回のライブに来た生徒に、今回新入生を迎えて初めてのライブだったが、楽しんでくれたら嬉しいと話した。部員には「錦城祭に向けてもっともつと高みを目指してください。顧問にギャバンと言わせようという演出を期待しています」とメッセージを送った。(燕)

むらさき草

この間母と会話していて、アメリカのある訴訟について知った。マクドナルドのドライブスルーで購入したコーヒーをこぼして火傷を負い、約88万ドル(\$111万2千500円)の賠償の陪審員評決を勝ち取った事例だ。調べてみると、会社が売上アップのためにコーヒーを高温にしていた(高温に保つこと)で、風味を引き出すことができるとアドバイスを受けていた、十分な注意書きもなく過去に同じような事故が多数起きていることが裁判では明らかになったそう。このような高額賠償には、加害者の行為に強い反社会的性が認められる場合に制裁的な賠償額を加算するという「懲罰的損害賠償」が含まれている。アメリカの裁判ではしばしば「訴訟することで、将来起こりうる同様の事故から何百、何千という被害者が救われる」という考え方が採られるらしい。実際、訴訟後、同社をはじめ他社もコーヒーの温度を下げ、カップに注意書きを添えるなどの対策を採るようになったという(幻冬舎ゴールドライフオンライン記事「やけどした客に8億9000万円の賠償金：判決が「合理的」だと言えらるワケ」(2025.5.9配信参照))。最初は火傷で4億円!と思つたが、一見極端に見える訴訟も、背景を探っていくと「理由」のある判断があるのだとわかった。日本の裁判では原則として「懲罰的損害賠償」が認められておらず損害分のみとされている(アンダーソン・毛利・友常法律事務所「懲罰的損害賠償と公序良俗」2021.10.配信参照)。この考え方の違いは文化の違いだと思うのだが、裁判でもそれが表れることが面白かった。各国の裁判を比べてみると、より様々な文化や考え方が理解できそう。調べてみようと思う。(蒲)

新校舎7階 or 旧校舎2階
毎週火・水・金曜日!!
部室3階前と図書室で
新刊配り中です!!

文芸部

美術部

新校舎4階
活動日:月・土

体育探部

活動場所 第1体育館
水 柔道場
でやります!!

ラジカゲ部

活動場所 食堂・校門前

ゆるい部活です!!
ぜひ来て下さい!!
冬はスキーできます!!

生物部

場所 生物部室(体育館横)

これで編集部への受け取った部活広告は以上となります。追加で載せたい広告や再度掲載したい広告がある部活、同好会は編集部または編集部員までお声がけください。また、大会に出たので取材してほしい、マイナーだけど活動内容を知ってほしいなどありましたらお知らせください。

運動会開幕!

一面に続き、二面でも64回生宿泊研修について、お届けする。宿泊研修二日目のメインは、運動会。天気に恵まれ、きれいな富士山が見えるグラウンドでクラスごとに並び、いよいよ運動会第一部が始まった。第一種目は台風の日。練習できる時間は少なかったが、各クラス工夫し、スムーズに棒を飛ばしていた。途中で棒が折れるというハプニングや、棒につまづいたり、曲がるときに転んでしまったりすることもあった。しかし、クラスでフォローし、助け合う様子が見られ、最終的にB組が1位に輝いた。

二種目は綱引き。各クラスがその場で作戦を立て、臨んだ。試合の回数を重ねるこ



クラスの絆を武器にして、勝利に向けた跳躍!

とに、コツが分かってきた。勝利をつかむために、誰もが大きな声を出し、手が痛くなるくらい必死に綱を引く。自分たちが負けた対戦相手のクラスが勝ち上がることで、自分たちの得点も高くなるため、応援も盛り上がり、飯盒炊爨後、優勝を目指して運動会第二部が行われた。第一部に比べてより勝敗を意識するようになり、生徒一人一人が全力で競技に参加する様子や、他クラスの人を応援する様子が見られた。

第二部の初めに行われた大玉流しでは、クラス全員が同じ一つの大きな玉に向かって走った。どのクラスも声を掛け合い、団結力が高まった。そして最終種目・男女別で行われた大縄では、女子が跳んでいるときに男子が、男子が跳んでいるときに女子が自分のクラスを大きな声で応援する様子が見られた。引掛かかった時も前向きな言葉が飛び交い、途中で諦めてしまったクラスはなかった。最後の最後まで全員が全力で取り組んだからこそ、運動会は大盛り上がりで幕を閉じた。



背の高さを超えるタワー

新入生とともに調理しました

旧校舎の6階、おいしい香りが漂ってくる調理室にて、4月30日(木)、クッキング同好会の取材をした。この日作っていたのはクレープとコンソメスープ。調理中は体験に来ていた新入生を含め、班ごとに分担作業をしてお



真心こめて作ります

り、真剣に取り組んでいる姿が見えた。取材をした新聞編集部員はコンソメスープをいただきたい。後味さっぱり心温まる味でもおいしいスープだった。クッキング同好会は2か月に1度活動していて、現在部員は3年生5人、2年生12人で活動している。興味があったらぜひ立ち寄ってみてはいかがだろうか。(富)



「おいしいクレープ、いただきます!」

「仲良くなれました!」リアル宝探しゲームで全問正解をした一人である小野綺



熱気が最高に達したキャンプファイヤー

もって行動していきたい。今回の宿泊研修で、64回生の仲は深まった。一方で行程の中で何度か時間を守れず遅れてしまうことがあった。また、スマートフォンを使い方について注意されることもあった。500人近くが行動する場面では一人の遅れが全員に迷惑をかけてしまう。今後も集団で行動する場面では一人一人意識を

二日目の午後は学年のオリエンテーションを行った。体育館で、違うクラスの生徒で作られたグループで、紙のみを使ってどれだけ高くタワーを作れるのかを競い、思考錯誤を繰り返した。結果190cm越えのタワーを作ったグループが現れた。

キャンプファイヤーの時間が訪れ、グラウンドに移動。火の神と各クラスから選ばれた13人の火の精がたいまつに火をつけ、グラウンドには歓声があがった。火を囲みながら、皆で練習したダンスを踊った。

一曲目は『タタロチカ』。リズムに合わせて「錦城!」と叫ぶ。二曲目は『ジギスカン』。サビに入ると、ジギスカン

まだまだ盛り上がる。3日目の朝開村式では、宝探しや運動会の結果発表を行った。宝探しでは、見事満点を取り、E組一班が堂々の一位を記録した。運動会ではG組

林の横を抜け、坂道を上がり、鳴沢水穴を目指して歩く。東京では暑さを感じる日も増えてきているが、富士山麓のまちは、三十分以上歩いてもさほど暑さを感じなかった。鳴沢水穴に着いてからは、水穴見学が行われた。暗い洞窟に一度足を踏み入れると、そこは冷たく湿った空気に覆われた。別世界のような空間である。ごつごつとした岩の段が続く不安定な足場を、一歩一歩、慎重に踏みしめて進むにつれ、寒さと暗さが増していく。転ばないように手すり

花さん(1E)は「クラスの人が仲良くすることができまして。宝探しで1位を取ることができてうれしかったです」と振り返る。2日目に行われた運動会で優勝を勝ち取ったG組。白井翼さん(1G)は「クラスで一致団結することができてよかったです。郷野先生のアドバイスのおかげで勝つことができました」と話してくれた。同じクラスの山下夢明さん(1G)は「疲れたけどとてもいい経験でした」と笑顔で語る。



笑顔でピース!

ん(1K)は「カードゲームやイベントを通して、クラスメイトの色々なことを知ることができ、仲良くなれた」と話していた。

今回の宿泊研修で、64回生の仲は深まった。一方で行程の中で何度か時間を守れず遅れてしまうことがあった。また、スマートフォンを使い方について注意されることもあった。500人近くが行動する場面では一人の遅れが全員に迷惑をかけてしまう。今後も集団で行動する場面では一人一人意識を

紫羅欄花 文藝部とのコラボ企画『紫羅欄花』連載第三号。文藝部有志のみなさんが毎号書き手を変えて話を紡いでいくリレー小説。ぜひ楽しんで読んでほしい。(前回までのあらすじ) 昼休み、屋上で幽霊に話しかけられた『僕』は体育館に連れてこられた。

生徒会 勸諭 2026.4.30~5.12 4月30日(木) 5月1日(金) 次号 新任の先生特集 第二弾 社 会科・理科の先生に取材した 様子をお届けします! お楽しみに!



裏側も笑顔あふれる宿泊研修

寝食を共にして、仲が深まる。研修の3日間は快晴で、2回ほど乗ったバスからは白い雪を被った富士山や、青く澄んだ相模原湖、河口湖など美しい景色を見ることができた。また、バスガイドさん方より、富士五湖の魅力、甲府盆地で果物が多く栽培されていることなど、山梨にまつわるお話をたくさんいただいた。

宿泊研修の生徒の間の一大イベントとも言っても過言ではない、宿舎内での各班の自由時間。そこでは親睦を深めるため互いに自己紹介をして、よりクラスメイトとの距離を近づけるための、もどかしくも微笑ましい風景や、お菓子を持ちいて恋バナをする青春特有の甘酸っぱい風景をさっそく繰り広げた。三日間の様々なグリーティングを通してクラスが一致団結していくことが主軸だった。宿泊研修。宿舎という非日常な空間が相まって、クラスメイトの意外な一面を知ることができた。そして、錦城64回生として初めてのかけがいのない思い出となった。

研修の3日間は快晴で、2回ほど乗ったバスからは白い雪を被った富士山や、青く澄んだ相模原湖、河口湖など美しい景色を見ることができた。また、バスガイドさん方より、富士五湖の魅力、甲府盆地で果物が多く栽培されていることなど、山梨にまつわるお話をたくさんいただいた。



トロフィーとともに記念撮影

輝さん(3I)、奥村俊介さん(3J)、補欠の須崎善平さん(3K)に話を聞いた。大会結果について、チーム全体の感想として「現実味が

4月19日(月)から26日(月)にかけて行われた関東大会東京都予選に弓道部が出場し、優勝した。部長で、主将を務めた加藤広輝さん(3I)、松尾央祐さん(3A)、ラモス未末さん(3E)、高橋俊

わきませんでした。自分たちの『優勝』は先輩たちの思いや先生たちの教えがあつてのものだと思うので、より達成感がありました」と教えてくれた。

練習では、チームの雰囲気大切にできたそう。加藤さんは「弓道は個人競技っぽく見えますが、チームの雰囲気やペースがとても大切になってきます。全体としてのチーム作りを重視しました」と説明してくれた。

奥村さんは、錦城の弓道場では5人全員が並んで練習できないため、チームで外部の道場に行つて通しての練習や時間を測つての練習をしてい

関東大会の出場に向けて、ラモスさんは「予選のときに調子が悪かったのですが、次の予選の時はずべての矢的に当てられました。それを自信にしてチームで団結できた方がいいと思います」と意気込み、高橋さんは「大きな大会なのでインターハイに向けていろいろ勉強してきました」と思いを語ってくれた。

また、須崎さんは「私は補欠ですが、誰かが不調の時に代わりになったときにチームが安心して任せられる存在になりたいです」とほほえんだ。

大会報告 男子バスケットボール部 4月12日 東京都関東大会予選 ベスト32 陸上競技部 4月18日、19日 高校総体東京都予選 男子走り高跳び 8位 三浦侑真(2E) 女子1500m 3年菊池理沙(3G) 女子やり投げ 4位 徳永清香(3D) 5月9日、10日 東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 優勝 大野彩希(2D) 男子5000M競歩 5位入賞 関原優斗(3L) 両名関東大会出場決定

空手道部 4月26日 内閣総理大臣杯第68回全国空手道選手権大会直轄団体選考会 個人形 予選通過 風間陽人(2D) 個人組手 予選通過 風間陽人(2D) 予選通過 田原迫陸斗(2I) 全国大会出場決定 5月2日、3日 東京都総合体育大会・関東高等学校 空手道大会予選 関東大会出場決定 男子団体形 第3位入賞 女子個人形 ベスト8 安武里紗(2H) 女子ソフトボール部 5月3、4日 東京都予選 ベスト8 将棋部 5月3、4日 第62回将棋選手権大会東京都地区予選 女子団体戦 準優勝 女子個人戦 優勝 水谷菜優(3B) 全国大会出場決定 3位入賞 内田光例(3G)

バドミントン部 4月26日 関東大会予選女子団体 7位入賞 関東大会出場決定

体操部 4月26日 女子3年大会 団体5位

弓道部 4月12日、19日、26日 関東大会東京都予選 優勝 男子団体の部 優勝 関東大会出場決定